

# 認知症施策についてのご案内

## 第4回 市民や事業者の取り組み

認知症は誰もがなり得る、身近な病気です。

市民の誰もが、認知症に関する正しい知識を習得し、理解を深めるとともに、日常生活において認知症の予防に努めることが大切です。

また、認知症の人やその家族の悩み、不安等に気づいたときは、その状況に応じて適切な支援を行うことが大切です。

※「認知症の予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」、「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

### 認知症サポーター養成講座

認知症の理解を深め、認知症の方や家族を温かい目で見守る「認知症サポーター」になっていただくための講座を開催しています。個人だけでなく、事業者の皆さまからの申込みも受け付けています。

#### 認知症サポーター 養成講座

**場所** 熱田区在宅サービスセンター **開催日** 毎月1回定期開催

**時間** 90分程度 **費用** 無料

**内容** 認知症についての理解、診断と治療について、サポーターの役割など

#### 出張講座も 実施しています！

ぜひご利用ください。

**対象** 5人以上の団体・グループ  
(学校、商店、銀行、病院、介護施設、サロン、子ども会、友人同士など)



【申込・問合せ】 **熱田区いきいき支援センター** 電話：671-3195 FAX：671-1155

### 認知症の人と接するときの心がまえ

認知症だからといって、これまでのつきあいを変える必要はありません。認知症の人への対応には、認知症に伴う認知機能の低下があることを正しく理解していることが必要です。

認知症は自分たちの問題であるという認識をもつとともに、本人や家族に大きな負担が生じていることを理解し、認知症の人やその家族を支援する姿勢が大切です。

#### 基本的な 心がまえ

- 驚かせない
- 急がせない
- 自尊心を傷つけない
- つじつまの合わないことを言っても否定しない

### 困っている認知症の人を見かけたら

#### 声かけの 7つの ポイント

- ① まずは、さりげなく様子を見守る
- ② 自然な笑顔で、余裕を持って対応する
- ③ 声かけは、できるだけ一人で
- ④ 声かけは、正面から視界に入るように近づき、笑顔で
- ⑤ 声かけは、相手に視線を合わせて、優しい口調で
- ⑥ 声かけは、おだやかに、はっきりした言葉で
- ⑦ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

